

アルミ燃料タンクの自主改善について

平素は、弊社アルミ製燃料タンク『日軽フューエルタンク』をご愛顧頂き厚く御礼申し上げます。

弊社アルミタンクにつきまして別紙の通り国交省に自主改善の届出を申請しております。発送履歴に基き対象ロットの確認を進めて参りましたが、未だ確認が出来ていないタンクがございます。

大変ご迷惑おかけしまして申し訳ございませんが、お客様のトラックに装着されておりましたら、下記連絡先までご連絡頂きたくお願い申し上げます。

不適合品と判明した場合は無償で交換させていただきます。

【製造期間】 2017年（平成29年）1月12日～31日

【販売期間】 2017年（平成29年）1月～12月

【未確認台数】 38台 *2019年(平成31年)4月1日現在

容量	機種	対象製造ロットNO.								台数	
150L	NT-150A	2901219	1901309	2901310	2901311					4台	
200L	NT-200A	2901186	2901250	2901252	2901285	2901287	2901296			6台	
200L	NT-200B	2901237	2901238	2901241	2901244	2901420	2901421			6台	
250L	NT-250A	2901331	2901337	2901339	2901340					4台	
300L	NT-300A	2901105	2901172	2901193	2901195	2901210	2901220	2901221	2901222	2901223	18台
		2901261	2901341	2901349	2901364	2901375	2901376	2901377	2901380	2901424	
計										38台	

【連絡先】 日軽金アクト株式会社 輸送機器ビジネスユニット

TEL 03-5461-8205

FAX 03-5461-8381

〒140-0002

東京都品川区東品川2-2-20

2017年11月14日

お取扱い先各位

日軽金アケ株式会社
代表取締役社長 安達 章

『トラック車両用燃料タンクに関する自主改善についてのご協力をお願い』

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度は突然にこのような書面を送らせていただきました事を謹んでお詫び申し上げます。

まずは、本書面を送らせていただきました経緯について説明させていただきます。

弊社で販売しています「トラック車両用燃料タンク」について、2017年1月12日から31日までに製造した1台が、内部の仕切板溶接位置が外側方向に約30mmズレた状態で製造されていたことが判明いたしました。

不具合品は車体に取付けた際、固定ステー位置と内部の仕切板の間にズレが生じ、正常品と比べ走行中の振動によりタンク本体の胴板に亀裂が入り易くなり、最悪の場合、燃料が漏れる可能性があります。

弊社は、2017年11月14日に上記の件について国土交通省に自主改善(サービスキャンペーン)を実施する旨申請をし、これが承認されました。

つきましては、お手数をお掛けすることになりまして誠に恐縮ではございますが、被害を未然に防止すべく、ご使用者様とお取引先様に調査対象品リストの燃料タンクが、装着されているトラックの所在および登録番号を下記お問合せ連絡先までご連絡下さいます様 お願い申し上げます。

調査対象品は、トラック装着状態にて合否確認をさせていただき、不具合品の場合は交換させていただきます。

このような事態となりましたことについて重ね深くお詫び申し上げますとともに、今後は再発防止に向け、管理体制の一層の強化に努める所存でございますので、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ連絡先)

日軽金アケ株式会社 輸送機器ビジネスユニット 03-5461-8205 受付：(月)～(金) 9:00～17:00 年末年始、G.W、夏季休暇を除く

以上

【別紙】

「トラック車両用燃料タンク」確認対象品の判断方法、不具合現象

【対象品確認方法】

1.型式（燃料タンク本体を正面のした状態で右上に貼付されたシールに表記しております。）

※下記 識別表示部位 参照

NT-150A

NT-200A、NT-200B

NT-250A

NT-300A の5品種

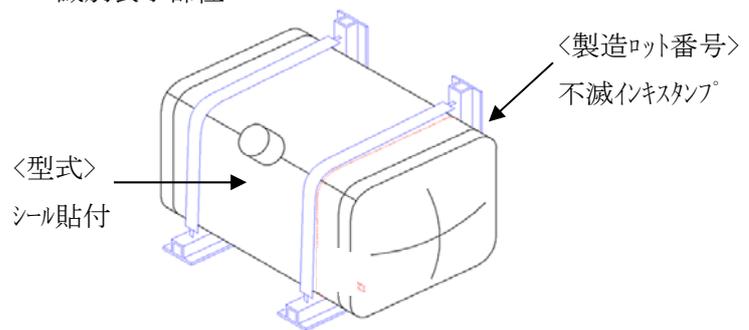
2.製造ロット番号（燃料タンク本体の裏側の不滅印にて表記しております。）

※下記 識別表示部位 参照

2901 から始まる 7桁の番号 確認対象品は別紙 対象リスト表 参照

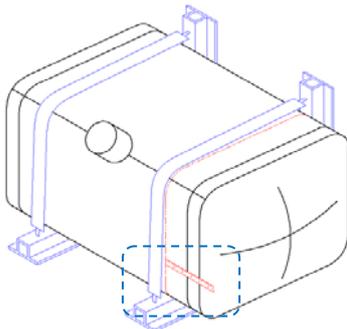
例) 2901098

-識別表示部位-



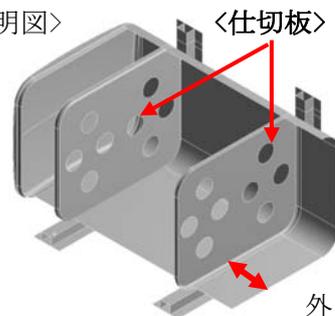
【不具合現象】

〈外部説明図〉



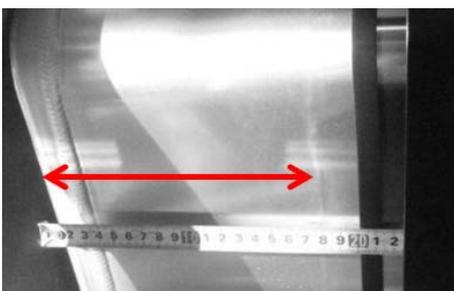
対象箇所

〈内部説明図〉



外側にズレて取付けられていた

【不具合品（例）】



【正常位置品（例）】



内部仕切板の溶接が固定取り付けバンドからズレた状態となる。

トラック車両用燃料タンクに関する自主改善の実施について

平成 29 年 11 月 14 日

国土交通省 自動車局
審査・リコール課長 殿

通知者の氏名
又は名称

日軽金アクト株式会社 代表取締役 安達 章

住 所 東京都品川区東品川 2-2-20

弊社が交換用部品として出荷した、燃料タンクについて、不具合があることが判明いたしましたので、以下の通り自主改善を実施いたしたく、ご報告申し上げます。

整理番号	自主改善開始日	平成 29 年 12 月初旬
不具合の内容	トラック車両搭載用燃料タンクにおいて、燃料タンク内部の仕切板溶接位置が外側方向に約30mmズレた状態で製造された。 該当品と固定ステーとにズレが生じた際、正常品と比べ胴板の発生応力が高くなり、走行中の振動により胴板に亀裂が入り易くなり、最悪 軽油が漏れる可能性がある。	
改善の内容	トラック搭載状態にて仕切板溶接位置の合否確認を実施し、不具合品の場合は良品と交換する。	
クレーム件数	0 件	
事故の有無	なし	
使用者に周知させるための措置	取引先ならびに燃料タンクの納入先、取付先様へメールまたは電話等により通知し告知を行う。	

対象の製品名	品番	自主改善対象製品の製作期間	自主改善対象数	備考
トラック車両搭載用燃料タンク	NT-150A	平成 29 年 1 月 12 日～1 月 31 日	67 台	-
	NT-200A			
	NT-200B			
	NT-250A			
	NT-300A			
(計 5 種類)	—	合計	67 台	

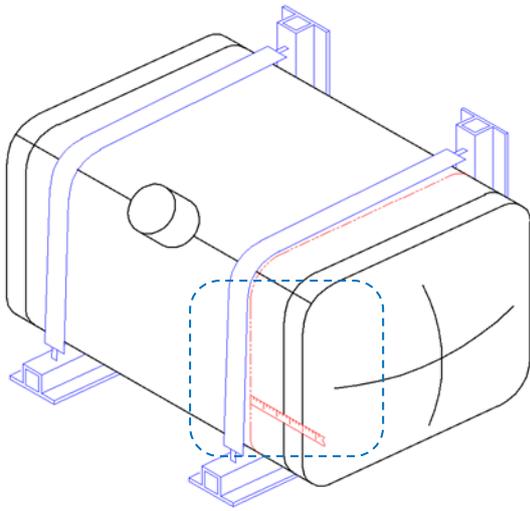
問い合わせ先

日軽金アクト株式会社 輸送機器ビジネスユニット

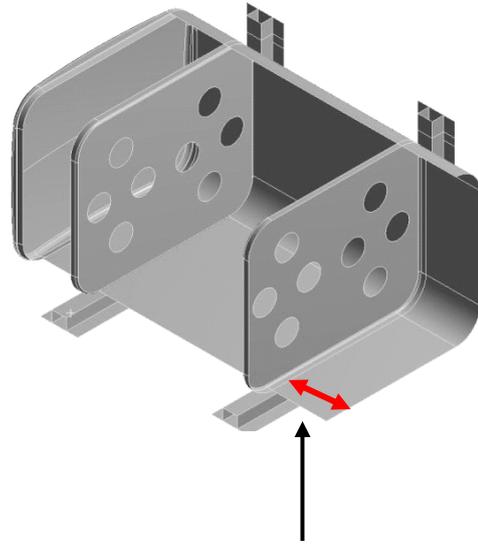
TEL : 03-5461-8205

受付時間 : 9:00～17:30

不具合箇所説明図

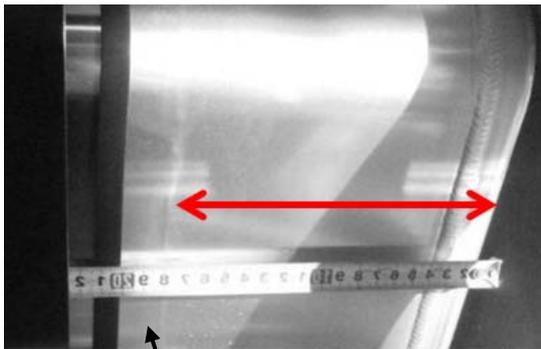


【不具合品（例）】



不適合発生箇所

【正規位置品（例）】



不適合発生箇所



不適合内容

燃料タンク内部の仕切板溶接位置が外側方向に約 30 mm ズレた状態で製造された。

処置内容

トラック搭載状態にて仕切板溶接位置の合否確認を実施し、不具合品の場合は良品と交換する。